地区別防災カルテ

様式1 防災データベース

No. 38 原別小学校(北)

●位置図



●地区を構成する町丁

1		

●防災関連施設分布

市行	受所、	支	听、 か	1	箇所	野内支所
公公	共	施	·6 設		回加	
警	察			_	箇所	
消	防	ī	署	0		
消队	坊団:	詰所	等	2	箇所	野内分団4・5班、野内分団資材庫
病	院	Ē	等	2	筃所	
幼科	推園·	保育	園	1	箇所	くぐりざか保育園
その他、主な	福施	齢祉関	者連設	1	箇所	[特養]かいふう
主な要配慮者利	児	童福係施	a祉 記設	0	箇所	
利用施設	障	が ・ 設	者	0	箇所	
学	杉	ξ	等	1	固肌	
避	難				箇所	
					箇所	
臨日	侍へ!	Jポ-	ート	0	箇所	

●建	物数•人口								
	区分					ᇩᆉᄱ	t		
建	木造(昭和55年以前)	455	棟		建物棟数			_	
圧	木造(昭和56年以降)	280	棟						
物	非木造(昭和55年以前)	13	棟						
190	非木造(昭和56年以降)	44	棟			1		I	1
	合 計	792	棟	0	100	200	300	400	500
	区分								
,	0 ~ 4 歳	17	人			J			
^	5 ~ 14 歳	55	人						1
	15 ~ 64 歳	656	人						
	65 歳 以 上	437	人	0%	20%	40%	60%	80%	100%
	숨 計	1,165	人	078	20/0	4070	0076	3076	10076

●地区概況・所見

- ・青森市の北東部に位置しており、校区の北側に青森湾を望む。西側には山地が広がり、平内町との境界に接する。 ・隣接小学校区は東陽(北)、東陽(南)、野内。
- ・校区内を青い森鉄道と国道4号線が通る。住宅は青森湾の沿岸部に集中しており、西部の山地には建物がほとんど存在しな
- ・建物総数の6割を昭和55年以前の木造建物が占めていることから、建物被害や火災危険度が高い。

●地震被害予測結果

	● 心放										
						層地震			太平洋沖地震		
				冬18時(風速3m/s)		冬早朝深夜(風速3m/s)		夏12時(風速3m/s)		冬18時(風速3m/s)	
	被害量 比率				被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率	
建	物	全	壊	296	37.37%	215	27.15%	200	25.25%	3	0.38%
建	物	焼	失	89	11.24%	8	1.01%	5	0.63%	2	0.25%
死			者	20	1.72%	16	1.37%	46	3.95%	0	0.00%
重	1	易	者	16	1.37%	17	1.46%	20	1.72%	0	0.00%
自力脱出困難者			惟者	23	1.97%	40	3.43%	14	1.20%	0	0.00%

●近年の主な災害履歴

_				
地	震	2011年3月11日	東北地方太平洋沖地震	市内全域で約1日の停電
台	風	2013年9月15日	台風18号	市内全域で(床上浸水24件/床下浸水128件/一部破損2件)
集中	豪雨	2012年7月16日	大雨被害	青森地区全域で(床上浸水1件/床下浸水16件)

●危険度評価		
評価項目		危 険 度
①避難の困難度	4	①
②建物被害・火災の危険度	4	6
③救助活動の困難度	2	
④医療活動の困難度	2	5
⑤交通・輸送の困難度	5	5
⑥災害の危険度	3	4
⑥災害の危険度 ※数値が大きいほど市の被害		4 付ける相対的合陰度が高い

●防災上の課題 ・建築年代が古い木造建物が多いため、相対的に建物被害・火災 危険度が高い。

- ・沿岸部につき、津波の浸水想定区域となっており、被災時には被 害が拡大する恐れがある。 ・物資集積場までの距離が遠く、道路の疎通性が悪いため、交通・
- 輸送の困難度が高い。また、避難所が少ないため避難困難度につ いても高くなっている。

	— 18
-	

地区別防災カルテ

原別小学校 北

